

事務事業名		博物館管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業		
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目		
	施策名	11 生涯学習の推進		区分		会計	款 項 目 事業	
	基本事業名	01 学習環境の充実		単年度繰返		01	10 04 05 0300	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入				
所属	部課名	教育委員会博物館		【開始年度】		事務事業区分		
	課長名	伊藤 真紀子		-		C 施設管理		
	係名	博物館	電話	0192-29-2161				
	担当者	佐藤 貴裕	内線	-				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
<p>・大船渡市立博物館の施設管理を行う事業。</p> <p>・主な業務は、①施設・設備の修繕、②施設の維持管理(10業務を委託)、③博物館無料開放等の実施(令和5年度は東北文化の日など5日間、つばきまつりに伴う共通無料入館券市内全世帯へ配布)、④博物館施設の供用(多目的ホール等)、⑤博物館情報の提供(市広報、市ホームページ、事業案内ポスター等)、⑥日本博物館協会・岩手県博物館等連絡協議会への加盟、⑦博物館総合保険への加入、⑧入館料・企画展示図録売払代金等の徴収。</p> <p>・事業費は、施設・設備の維持管理業務委託料、施設設備の修繕費、光熱水費、賃借料などに支出される。</p>						総投入量 (千円)	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計(A)	0
						正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
公用車の12ヶ月点検に伴う修繕の実施。無料開放の実施。つばきまつりに伴う共通無料入館券の市内全世帯へ配布。市広報、市ホームページ、SNS等で博物館情報を提供。施設の維持管理。		ア	保守点検実施回数
		イ	施設設備修繕実施件数
		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		単位	
公用車の車検に伴う修繕の実施。無料開放の実施。つばきまつりに伴う共通無料入館券の市内全世帯へ配布。市広報、市ホームページ、SNS等で博物館情報を提供。施設の維持管理。		カ	博物館入館者数
		キ	
		ク	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
博物館入館者(市民、基石海岸を訪れる観光客)		名称	
		カ	博物館入館者数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる		名称	
		サ	施設設備の故障・不具合発生件数
		シ	施設設備の故障・不具合対応率
		ス	博物館入館者数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		単位	
学習に必要な環境がある		ア	回
		イ	件
		ウ	
		カ	人
		キ	
		ク	
		サ	件
		シ	%
		ス	人

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	108	90	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	341	474	683	630	700	700
		一般財源	千円	10,374	11,477	10,345	10,397	11,319	11,400
	事業費計(A)			千円	10,715	12,059	11,118	11,027	12,100
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
		人件費計(B)	千円	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400
		トータルコスト(A)+(B)			千円	21,115	22,459	21,518	21,427
⑤活動指標		ア	回	31	31	31	31	31	31
		イ	件	3	1	0	1	1	1
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	2,483	4,635	6,298	7,052	8,000	8,400
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	件	3	1	-	1	1	1
		シ	%	100	100	-	100	100	100
		ス	人	2,483	4,635	6,298	7,052	8,000	8,400

事務事業ID	0894	事務事業名	博物館管理事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和30年、大船渡町字笹崎の旧大船渡町役場庁舎を転用し、「大船渡市立科学博物館」として発足。昭和57年、碁石海岸の現在地に移転をきっかけとして開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	施設・設備の老朽化が著しく、突発的な不具合がたびたび発生している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修を検討すべきである。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 来館者の利用環境を向上させるために行う事業であり、学習環境の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 博物館は市の生涯学習施設であり、その維持管理は市で行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 生涯学習施設の維持管理であり、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 碁石海岸に移転してから40年が経過し施設が老朽化しているが、施設・設備の修繕等により学習環境を維持している。限られた予算の中で対応であり、向上余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 市民の多様な学習ニーズに対応できなくなり、貴重な文化財の調査研究、保護、保存を図ることが困難となり、影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 管理事業は必要最小限の業務であり、削減余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 施設の維持管理に関し外部委託できる業務を委託するなどしており、これ以上の人件費の削減余地がない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 一般の入館者からは入館料を徴収していることから、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	施設の老朽化により修繕、更新の必要な箇所が多いので、優先順位をつけて計画的に対応する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	施設の老朽化に伴う突発的な不具合にも迅速に対応し、適切に施設設備の管理がなされている。来館者が学習の場として安全に施設を利用できるよう、引き続き施設設備の適正管理に努め計画的な修繕等を行っていく。